科目名称	小児看護学Ⅰ（こどもを知る）	学年学期	単位数	時間数
		第 2 学年　前期	1	15
担当教員	土居　泰子	授業に関わる実務経験	■　有　（　　看護師　　） □　無	

【1】 授業概要

小児期は成長発達の最も著しい時期である。健全な成長発達を支援するためには、小児の正常な成長発達の特徴をはじめ対象であるこどもを理解する必要がある。また、子どもをとりまく環境や法律を理解し、小児看護の役割と機能を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 小児期の特徴と各期の成長発達について理解できる
2. 小児に関する法律や保健対策を理解できる
3. 小児看護の対象・目的・役割を理解できる

【3】 第１看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■　1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■　2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□　3. 地域の特性を看護に生かす力
■　4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■　5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	こどもとは	講義・演習
2	新生児期の特徴	講義
3	乳児期の特徴	講義 GW
4	幼児期の特徴	講義 GW
5	学童期・思春期の特徴	講義 GW
6	子どもの成長発達子ども	演習・発表
7	を取り巻く環境・法律	講義
8	試験	

【5】 評価方法

1. 筆記試験（80％）と GW・発表（20％）によって評価する。

【6】 教科書

奈良間美保：系統看護学講座　専門分野　小児看護学　1　小児看護学概論　小児臨床看護総論（第 15 版）医学書院 2026 （電子版）

【7】 参考書

岡庭豊：看護がみえる vol.5　対象の理解Ⅰ（第 1 版）メディックメディア　2023 年

【8】 受講生へのメッセージ

みなさんは、子どもに対して、どのような印象を持っていますか。子どもは、さまざまな力・発達をしています。自分の子どもの頃を振り返りながら、子どもの魅力を再発見してみませんか。